安全データシート

[(3-ドデカンアミドプロピル)(ジメチル)アンモニオ]アセタート

改訂日：2024-01-29 版番号：1

1. 化学品及び会社情報

製品識別子

製品名	: [(3-ドデカンアミドプロピル)(ジメチル)アンモニオ]アセタート
CB番号	: CB4891635
CAS	: 4292-10-8
同義語	: [(3-ドデカンアミドプロピル)(ジメチル)アンモニオ]アセタート

物質または混合物の関連する特定された用途、および推奨されない用途

関連する特定用途	: パーソナルケア製品(シャンプー、シャワーゲル)、手洗い製品の洗浄、泡立ち剤 (NITE-CHRIPより引用)
推奨されない用途	: なし

会社ID

会社名	： Chemicalbook
住所	： 北京市海淀区上地十街匯煌国際1号棟
電話	： 010-86108875

2. 危険有害性の要約

GHS分類

分類実施日

(物化危険性及び健康有害性)

R5.3.31、政府向けGHS分類ガイダンス(令和3年度改訂版(Ver2.1))を使用

物理化学的危険性

-

健康に対する有害性

-

分類実施日

(環境有害性)

ガイダンス(H22.7版) (GHS 3版, JIS Z 7252:2009)

環境に対する有害性

-

GHSラベル要素

絵表示

GHS05

注意喚起語

分類基準に該当しない

危険有害性情報

分類基準に該当しない

注意書き

安全対策

分類基準に該当しない

応急措置

分類基準に該当しない

保管

分類基準に該当しない

廃棄

分類基準に該当しない

他の危険有害性

分類基準に該当しない

---

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	: 化学物質
化学名又は一般名	: [(3-ドデカンアミドプロピル)(ジメチル)アンモニオ]アセタート
慣用名又は別名	: 情報なし
英語名	: [(3-Dodecanamidopropyl)(dimethyl)ammonio]acetate
濃度又は濃度範囲	: 情報なし
分子式 (分子量)	: C19H38N2O3 (342.52)
CAS番号	: 4292-10-8
官報公示整理番号(化審法)	: 2-2707、9-2027
官報公示整理番号(安衛法)	: 情報なし
GHS分類に寄与する成分(不純物及び安定化添加物も含む)	: 情報なし

---

4. 応急措置

吸入した場合

気分が悪いときは医師の診断、手当を受ける。

皮膚に付着した場合

皮膚刺激が起こった場合は、医師の診断、手当を受ける。

眼に入った場合

眼刺激が起こった場合は、医師の診断、手当を受ける。

飲み込んだ場合

気分が悪いときは医師の診断、手当を受ける。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

情報なし

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

情報なし

医師に対する特別な注意事項

情報なし

---

5. 火災時の措置

適切な消火剤

粉末消火剤、二酸化炭素、一般的な泡消火剤。

使ってはならない消火剤

棒状注水

火災時の特有の危険有害性

情報なし

特有の消火方法

消火活動は風上から行う。

消火を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火活動の際は、適切な保護具を着用する。

---

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

周囲に注意喚起し、避難させる。漏出区域に入るときは保護具を着用すること。

環境に対する注意事項

化学品を扱う場合の一般的な注意として、周辺環境に影響がある可能性があるため、製品の環境中への流出を避ける。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

飛散した物を掃き集めるか、真空掃除機で吸引する等できるだけ飛散発じんしないようにして、空容器等に回収する。

二次災害の防止策

情報なし

---

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。

安全取扱注意事項

「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。

接触回避

「10. 安全性及び反応性」を参照。

衛生対策

情報なし

保管

安全な保管条件

情報なし

安全な容器包装材料

破損や漏れの無い密閉可能な容器を使用する。

---

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

未設定

許容濃度等

日本産衛学会(2022年版)

第3種粉じん: その他の無機及び有機粉じん* 吸入性粉じん: 2 mg/m3 総粉じん: 8 mg/m3 * 多量の粉じんの吸入によるじん肺を予防する観点から、この値以下とすることが望ましいとされる濃度。

ACGIH(2022年版)

PNOS* TLV: 3 mg/m3 (Respirable particles) PNOS* TLV: 10 mg/m3 (Inhalable particles) * Particles (insoluble or poorly soluble) Not Otherwise Specified

設備対策

密閉化された設備または局所排気装置を設置するのが望ましい。取り扱い場所の近くに洗浄のための設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具

必要に応じて状況に応じた適切な呼吸用保護具を使用する。 防じんマスクの選択については､以下の点に留意する。 -酸素濃度が18%未満の場所では使用しない。また、有害なガスが存在する場所においては防じんマスクを使用せず、その他の呼吸用保護具の利用を検討すること。-防じんマスクは、日本工業規格(JIS T8151)に適合した、作業に適した性能及び構造のものを選ぶ｡その際、取扱説明書等に記載されているデータを参考にする。

手の保護具

必要に応じて保護手袋を着用する。

眼の保護具

必要に応じて保護眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護具

必要に応じて保護衣を着用する。

---

9. 物理的及び化学的性質

Information on basic physicochemical properties

物理状態	固体(GHS判定)
色	データなし
臭い	データなし

データなし

データなし

1.2 g/cm³(20℃)(GESTIS(2022))

データなし

データなし

水: ca.250 mg/L(20℃)(GESTIS(2022))

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

本物質は加熱すると分解するため融点を持たない。(GESTIS(2022))

融点/凝固点

本物質は加熱すると分解するため融点を持たない。(GESTIS(2022))

沸点、初留点及び沸騰範囲

データなし

可燃性

データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

データなし

引火点

データなし

自然発火点

データなし

分解温度

データなし

pH

データなし

動粘性率

データなし

溶解度

水: ca.250 mg/L(20℃)(GESTIS(2022))

n-オクタノール/水分配係数

データなし

蒸気圧

データなし

密度及び/又は相対密度

1.2 g/cm³(20℃)(GESTIS(2022))

相対ガス密度

データなし

粒子特性

データなし

---

10. 安定性及び反応性

反応性

「危険有害反応可能性」を参照。

化学的安定性

情報なし

危険有害反応可能性

情報なし

避けるべき条件

情報なし

混触危険物質

情報なし

危険有害な分解生成物

情報なし

11. 有害性情報

急性毒性

経口

【分類根拠】

データ不足のため分類できない。

経皮

【分類根拠】

データ不足のため分類できない。

吸入: ガス

【分類根拠】

GHSの定義における液体であり、区分に該当しない。なお、新たな知見に基づき旧分類の性状を変更した。

吸入: 蒸気

【分類根拠】

データ不足のため分類できない。

吸入: 粉じん及びミスト

【分類根拠】

データ不足のため分類できない。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

【分類根拠】

データ不足のため分類できない。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

【分類根拠】

データ不足のため分類できない。

呼吸器感作性

【分類根拠】

データ不足のため分類できない。

皮膚感作性

【分類根拠】

データ不足のため分類できない。

生殖細胞変異原性

【分類根拠】

データ不足のため分類できない。

【参考データ】

(1)In vivoでは、本物質の類似物質であるC8-18 and C18 unsatd. AAPB(CAS登録番号:147170-44-3)の30%水溶液について、マウスの骨髄細胞

を用いた小核試験(GLP、2日間腹腔内投与)において、20及び200 mg/kgの2回投与(24時間間隔)で陰性の報告がある(REACH登録情報 (Accessed Oct. 2022)、SIAR (2006))。
(2)In vitroでは、C8-18 and C18 unsatd. AAPBを被験物質とした複数の細菌を用いた復帰突然変異試験、及び本物質の類似物質であるC8-18 AAPB(CAS登録番号:97862-59-4)を被験物質としたマウスリンパ腫L5178Y細胞を用いた遺伝子変異試験でいずれも陰性の報告がある(REACH登録情報 (Accessed Oct. 2022))。

発がん性

【分類根拠】
データ不足のため分類できない。

生殖毒性

【分類根拠】
データ不足のため分類できない。

【参考データ等】
(1)C8-18 AAPB(CAS登録番号:97862-59-4)の28.9%水溶液について、妊娠ラットを用いた強制経口投与による発生毒性試験(OECD TG414、GLP、100~1,000 mg/kg/day)において、明瞭な母動物毒性(死亡1例、体重増加抑制、摂餌量減少、胃の異常(胃粘膜の肥厚等))がみられる高用量(1,000 mg/kg/day)において、早期及び後期吸収胚数の増加、胎児の低体重がみられたとの報告がある(REACH登録情報 (Accessed 2022)、SIAR (2006))。
(2)C8-18 AAPB(CAS登録番号:97862-59-4)について、ラットを用いた強制経口投与による生殖毒性試験(OECD TG408、GLP、75~300 mg/kg/day)において、最高用量(300 mg/kg/day)まで、雌雄生殖器官への有害性所見はみられなかったとの報告がある(REACH登録情報 (Accessed 2022))。
(3)C8-18 and C18 unsatd. AAPB(CAS登録番号:147170-44-3)について、ラットを用いた混餌投与による生殖毒性試験(OECD TG408、GLP、9.5~247 mg a.i./kg bw/day)において、最高用量(247 mg a.i./kg/day)まで、雌雄生殖器官への有害性所見はみられなかったとの報告がある(REACH登録情報 (Accessed 2022))。

---

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期(急性)
データなし。
水生環境有害性 長期(慢性)
データなし。

残留性・分解性

化審法分解度試験:良分解性(化学物質安全性点検結果等(分解性・蓄積性))

生態蓄積性

情報なし

土壌中の移動性

情報なし

オゾン層への有害性

当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

13. 廃棄上の注意

化学品(残余廃棄物)、当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号

-

品名(国連輸送名)

-

国連分類

-

副次危険

-

容器等級

-

海洋汚染物質

該当しない

MARPOL73/78附属書Ⅱ及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

該当しない

国内規制

海上規制情報

該当しない

航空規制情報

該当しない

陸上規制情報

該当しない

特別な安全上の対策

該当しない

その他 (一般的) 注意

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 重量物を上積みしない。

緊急時応急措置指針番号*

該当しない

---

15. 適用法令

労働安全衛生法

該当しない

化審法

優先評価化学物質(法第2条第5項)

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

第一種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)(令和5年度以降の対象)

毒物及び劇物取締法

該当しない

---

16. その他の情報

略語と頭字語

TWA: 時間加重平均

STEL: 短期暴露限度

RID: 鉄道による危険物の国際運送に関する規則

LD50: 致死量 50%

LC50: 致死濃度 50%

IMDG: 国際海上危険物

IATA:国際航空運送協会

EC50: 有効濃度 50%

CAS: ケミカルアブストラクトサービス

ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定

参考文献

【14】Sigma-Aldrich、ウェブサイト https://www.sigmaaldrich.com/

【13】IPCS - The International Chemical Safety Cards (ICSC)、ウェブサイトhttp://www.ilo.org/dyn/icsc/showcard.home

【12】IARC - 国際がん研究機関、ウェブサイト http://www.iarc.fr/

【11】HSDB - 有害物質データバンク、ウェブサイト https://toxnet.nlm.nih.gov/newtoxnet/hsdb.htm

【10】有害物質に関するドイツ GESTIS データベース、ウェブサイトhttp://www.dguv.de/ifa/gestis/gestis-stoffdatenbank/index-2.jsp

【9】ERG - 米国運輸省による緊急対応ガイドブック、ウェブサイトhttp://www.phmsa.dot.gov/hazmat/library/erg

【8】eChemPortal - OECD 化学物質情報グローバルポータル、ウェブサイトhttp://www.echemportal.org/echemportal/index?pageID=0&request_locale=en

【7】ECHA - 欧州化学物質庁、ウェブサイト https://echa.europa.eu/

【6】ChemIDplus、ウェブサイト http://chem.sis.nlm.nih.gov/chemidplus/chemidlite.jsp

【5】カメオケミカルズ公式サイト http://cameochemicals.noaa.gov/search/simple

【4】NITE化学物質総合情報提供システム (NITE-CHRIP)https://www.nite.go.jp/

【3】化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) https://www.chemicoco.env.go.jp

【2】化学物質審査規制法(化審法)https://www.env.go.jp

【1】労働安全衛生法 ウェブサイト https://www.mhlw.go.jp

免責事項：
本MSDS中の情報は指定された製品にのみ適用され、特に規定がない限り、本製品とその他の物質の混合物には適用されません。本MSDSは、製品使用者の適切な専門的なトレーニングを受けた者にのみ製品安全情報を提供します。本MSDSの使用者は、本SDSの適用性について独自に判断しなければならない。本MSDSの著者は、本MSDSの使用によるいかなる傷害にも責任を負わない。